



— 卯野修三 議員活動報告 —

目に青葉の新緑の季節となりましたが、昨年からの新型コロナウイルス感染拡大は衰えを見せず、今春よりスタートするコロナワクチン接種が順調に進み、一日も早く収束し、安心ある日常が取り戻せるよう願わずにはられません。

尚この一年、医療・介護従事のみなさまはじめ、全ての関係者のみなさまのご尽力に、深く敬意を表し感謝を申し上げます。

さて、平成29年(2017年)10月22日の能美市議会選挙から早や三年半が経過しましたが、私自身、振りかえるに、まだまだ実践不足、勉強不足です。これからも一生懸命に取り組みますので、どうかご指導、ご鞭撻お願い申し上げます。

「勇気・元気・やる気」 令和3年春 能美市議会議員 卯野 修三



◆令和2年12月22日
「GoTo商店街」採択を市長に説明の時に、「のみ商業協同組合」の理事の一人として出席(市役所にて)



◆令和2年12月21日
寺井高校が令和2年度の春の選抜高校野球の21世紀枠の石川県代表に選ばれたことをうけ、同窓会として野球部に激励金を贈呈(寺井高校にて)

◆令和3年度一般会計当初予算224億円、特別会計予算97億4,680万円、企業会計予算84億6,800万円、計406億1,480万円、並びに令和2年度補正予算(一般会計・特別会計・企業会計)6億9,617万6千円について詳しく審議した結果、全議案承認し、3月25日に閉会しました。今回の令和3年度一般会計当初予算は、編成時期が市長選挙と重なり、人件費、扶助費、公債費等の義務的経費と施設管理費等の経常経費を中心とし、さらに、国の経済対策対応および喫緊の課題対応に係る経費を盛り込んだ骨格予算として編成されました。したがって、新規事業等の政策経費につきましては、6月補正予算において計上が予定されています。

●議 会(令和3年4月1日現在)
(スローガン)勇気・元気・やる気
(議会)無所属 1期
教育福祉常任委員会 副委員長
予算決算常任委員会 委員
広報特別委員会 委員



◆令和2年12月15日
令和3年1月15日・2月15日
令和3年3月15日・4月15日
能美市あいさつデー(毎月15日)
市内の小学校・中学校に顔を出しあいさつしています。



◆令和2年12月16日
旧 北国街道の魅力を探るモニタリング・ツアーが来町
オール加賀会議と野々市観光物産協会が共催で、30人が参加し寺井地区(粟生・吉光・寺井)を訪れた際、オブザーバー参加(吉光町一里塚にて)



◆令和3年3月14日
災害時に、個人の防災行動を時系列に整理する「マイタイムライン」講座を受講。
講師:国土交通省と防災士の赤ブル(能美市防災センター5Fにて)



◆令和3年4月8日
鍋谷一和佐谷の林道途中の峠から能美市の里山・揚原山(あげはらやま・487m)に登って能美平野を眺望。

金沢検定合格!
令和2年10月31日に実施された第16回金沢検定初級コースを初めて受験。(受験者数2,171人、合格者数199人、合格率9.2%、83点でした)これで能美検定、小松ふるさと検定に続き3つめの検定証を持つことになりました。
尚、3月7日(日)に受験した第4回白山検定は不合格でした。
又、次回頑張ります。

令和2年12月 議会・定例会 一般質問 一問一答形式

●12月2日

(市執行部の役職名、氏名は令和2年12月1日現在です)

質問

◆土砂災害対策①◆ 土砂災害警戒区域の数と土砂災害工事実施件数は?

答え

吉田浩司 土木部長

土石流の警戒区域(イエローゾーン)が64か所、うち59か所が特別警戒区域(レッドゾーン)。急傾斜地の崖崩れでは警戒区域が40か所、うち39か所が特別警戒区域。地滑りでは警戒区域のみが1か所で、能美市内には合計105か所。

地域別では、辰口地区に警戒区域98か所、うち92か所が特別警戒区域。寺井地区には警戒区域が7か所あり、うち6か所が特別警戒区域。根上地区はなし。

そして、土砂災害対策工事は、これまで4か所で砂防堰堤や待ち受け擁壁を設置。現在は和気町で急傾斜地の崖崩れ、金剛寺町で土石流対策および急傾斜地の崖崩れ対策工事を実施中。



質問

◆土砂災害対策②◆ 急傾斜地崩壊対策事業の採択要件と地元負担率の低減は?

答え

吉田浩司 土木部長

崩壊により被害を受ける家屋等の戸数が10件以上の場合は県が事業主体で国の補助金対象、5件以上10件未満の場合は市が事業主体で県の補助金対象。地元負担率は令和2年3月に国費や県費を除く分担金のうち、地元受益者負担額を従来の2分の1から4分の1に減ずるよう条例施行規則が改正された。

質問

◆流域治水◆ 流域治水の現状と今後の進め方は?

答え

吉田浩司 土木部長

流域治水とは、近年の豪雨災害に対応するため国土交通省は、河川を管理する国や都道府県だけでなく、流域の市町村や住民・企業が協働で治水に取り組み被害の軽減をはかることです。

能美市の場合手取川・梯川に流出しているが、今後も継続的に河川改修、河道掘削の実施の働きかけや手取川宮竹用土地改良区とも令和2年度から緊密に連携して流域の冠水被害の軽減につなげていきたい。

又、町会・町内会・企業に対し、地域治水の趣旨の周知・啓発し、連携を進め治水対策に取り組みたい。



(裏面もご覧下さいませ)

質問

◆WEB九谷茶碗まつり2020◆ 能美市は具体的にどのような支援をしたのか？

答え

井出敏朗 市長

新型コロナウイルス感染拡大の影響をうけ売上減の市内事業者を支援するため、9月補正予算に計上した「のみブランド化推進事業」として能美市は特設サイトの準備を進めており、今回の「WEB九谷茶碗まつり2020」はその一環として実施されるものです。800点の九谷焼商品を写真撮影し、主催者の「九谷茶碗まつり運営委員会」さらに小松・能美連携推進事業であるKUTANismとも連携し、九谷焼のみならず市内の観光地・自然風土など能美の魅力を伝えていきます。今回のWEB対応で業界でもWEBへの進出を促す機運が醸成され、販路開拓に取りくむ機運が創出されたものと思っています。本事業で九谷焼ファンだけでなく、能美の魅力を知っていただき、交流人口や移住定住の促進につなげていきたい。



所見

テレビでおなじみの分子生物学者の青山学院大学の福岡伸一教授が、生命を維持するためには自ら壊し、再生を繰り返し、バランスを保つという動的平衡理論をよく話されますが、今回の九谷焼事業の「WEB九谷茶碗まつり2020」は、この動的平衡理論が根底にあるのかなと思いました。業界が自助で創造力と覚悟と勇気で挑戦・行動されたことに敬意を表し、能美市の宝の一つである九谷焼の発展を今後とも祈念します。

令和3年3月 議会・定例会 一般質問 一問一答形式 3月16日 (市執行部の役職名、氏名は令和3年3月1日現在です)

質問

◆デジタル改革①◆ 能美市のデジタル改革についてどのような組織で取り組むのか？

答え

井出敏朗 市長

令和2年度は、庁内業務のAI(人工知能)、RPA(ロボットが代行・自動化)化と職員の業務効率化の検証を進めた上で、まず、住民異動届をスマートフォンから作成できるCHAT窓口申請やインターネットで転届届が提出できる住民異動スマート申請を導入したり、農業でも農村DX*を進め、ドローンも導入した。

令和3年度は、子育て住環境ではパスロケーションシステム、交流人口拡大ではWEB版KUTANism、教育力向上ではGIGAスクール構想、安心安全では防災情報伝達システム、行財政改革でも情報機器活用推進事業を上程した。そして企画振興部にデジタル戦略室を設け、確実に対応していく。



質問

◆デジタル改革②◆ 今後のロードマップ並びにデジタル改革のための人材確保は？

答え

橋場和彦 企画振興部長

令和元年度より業務を自動化するRPAの導入を検討し始め、効率化が見込める業務の絞りこみを進め、国の押印廃止やマイナンバーカードの普及促進に合わせた早急な対応を進めます。

国は令和7年度を目標に、全国の自治体の主要17業務のシステムの標準化・共通化を進めます。又、DX*(デジタル・トランスフォーメーション)で業務の効率化をはかり、全庁的・横断的に取りくむため昨年11月にスマート自治体プロジェクトチームを組織した。外部の専門的な人材の登用も判断し、雇用も検討していく。*DX…進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活を豊かにしていく

質問

◆サテライトオフィス立地推進と都市計画マスタープラン①◆ 本社機能立地促進補助制度の利用件数と見直しの予定は？

答え

小坂清俊 産業交流部長

本制度は、最大で投資額の100分の10を最大5億円で補助するものですが、この数年間で4件の実施があり、見直しはせず、継続しPRを重ねていきます。



質問

◆サテライトオフィス立地推進と都市計画マスタープラン②◆ サテライトオフィスの立地推進の具体的な進め方は？

答え

小坂清俊 産業交流部長

市内の空家を利活用したサテライトオフィスの立地には至っていないが、能美市のもつ強み(自然災害の少なさ、三大都市圏に近い好立地、光ファイバー整備による通信環境、北陸先端大(JAIST)やニッチトップ企業との連携、住みよさランキング上位の生活環境など)を打ち出し、立地の可能性の高い企業を抽出し、積極的に企業訪問し誘致に結びつけたい。

質問

◆サテライトオフィス立地推進と都市計画マスタープラン③◆ 都市計画マスタープランの見直しは？

答え

吉田浩司 土木部長

都市計画マスタープランとは、長期的な視野に立ったまちづくりの方向性を示すものであり、おおむね10年先を基本目標年次とした土地利用と道路整備方針を示す計画です。現在平成21年に策定したマスタープランの見直しを進めていて、加賀海浜産業道路や能美東西連絡道路の整備効果を最大限に発揮させ、移住定住につながる計画になるよう見直ししていきたいと考えています。令和3年度には策定。

質問

◆フレイル(虚弱)の口腔ケア対応◆ フレイル予防策の運動・社会運動への参加・栄養ある食事を摂るに続く、第4のポイントとなる口腔ケアの取りくみは？

答え

佐々木ひふみ 健康福祉部長

令和元年度から、歯周病予防のため、40歳、50歳、60歳、70歳の節目年齢の方と健診で血糖値の高かった方を対象に、歯科医院での検診を開始した。又、健診に口腔機能の問診項目を追加し、フレイルを踏まえた高齢者の健康状態を総合的に把握している。

令和3年度からは、地域で歯周疾患からくる低栄養を予防するため、口腔ケアについて健康教育・相談を能美市歯科医師会や、介護保険事業所と連携して取りくんでいく。



手話の五十音の指文字です



能美市議会議員 卯野 修三

〒923-1121 石川県能美市寺井町ラ16 TEL (0761) 58-5811 FAX (0761) 58-5812

メルアド uno8656@tvk.ne.jp http://www.tvk.ne.jp/~uno0905/

うの修三 検索 卯野修三